

イギリスでの臨床研修について

医学部国際交流委員会

【研修の概要】

香川大学医学部では積極的に国際交流事業を行っています。学部学生海外派遣事業もその柱のひとつとして 1992 年より実施し実績を挙げています。イギリスにおいては、現在は以下の表に示すように 3 大学医学部に 3 コースが設けられ、学生さんの希望や適性に応じた派遣事業を行っており、医学部での特色のある教育プログラムとして注目されています。また派遣学生に対しては、医学部および医学部医学科同窓会からの金銭的な援助制度もあります。

派遣項目	期間	内容	人数など
ニューキャッスル大学医学部 (臨床研修)	平成 26 年 4 月～5 月頃 (4～6 週間)	定員：6 年次生 4 名以内。 ほぼどの科でも希望すれば 対応してくれる。通常 2 週間 ずつ 3 科目の研修を実施し ている。	1992 年から派遣を開始し、最 初 1 名から現在 4 名まで拡充。 IELTS: 各項目 5.5 以上、 overall で 5.5 以上必要。 75 万円の授業料が必要。
ロンドン大学セントジョージ医 学校 (臨床研修)	平成 26 年 4 月～5 月頃 (4～5 週間)	定員：6 年次生 4 名以内。 リストの中から選択する。香 川大学医学部には先に希望 を聞いてくれ配慮してくれ る。	ブルネイ・ダルサラーム大学と の交流の実績を評価されて、 2010 年より香川大学医学部か ら臨床研修に受け入れが開始。 300 万円の授業料が必要。
グラスゴー大学 医学部 (臨床研修)	平成 26 年 4 月～5 月頃 (4～5 週間)	定員：6 年次生。定員無し リストの中から選択する。	2009 年の国際交流委員会委員 長の訪問により、交流を開始。 IELTS: 各項目 5.5 以上、 overall で 5.5 以上必要。 100 万円の授業料が必要。

ニューキャッスル大学とロンドン大学については、日本全国でも 4 名しか取らないが、本学のみで 4 名の特別枠を獲得できている。

【派遣までのプロセス】

- ・ 来年度のイギリスでの研修を希望する者は適宜、芝原もしくは徳田まで相談に来ること。できればあらかじめメールしてアポを取る。
- ・ IELTS の受験を計画すること (特にロンドン大学セントジョージ医学校希望者は急ぐこと)
- ・ 2011 年の研修を終えた学生の報告会 (6 月初旬を予定) に参加
- ・ 派遣を希望する場合には、申請書を提出。(学務室)
- ・ 派遣選考会 (6 月末頃を予定：英語能力を中心とした筆記・リスニング・インタビュー) および前年度の成績により派遣候補者の仮決定
- ・ IELTS の合格 (ロンドン大学では 7.0 以上、ニューキャッスル大学とグラスゴー大学では 5.5 以上) により正式決定となる。遅くとも 10 月末までに完了することが必要。
- ・ 派遣準備および派遣に必要な自主的なトレーニング (平成 25 年 7 月～平成 26 年 3 月)
- ・ 帰国後に報告書の提出、および報告会を行う。
- ・ 援助制度：20 周年基金 (1 ヶ月未満 5 万円、1 ヶ月以上 10 万円)、讃樹会 (4 万円) がある。

【相談・問い合わせ先】

国際交流オフィス事務：芝原美津子 (月、火、木、金：9:00～16:00)

国際交流オフィス (基礎臨床研究棟 1 階、眼科学の向かい側)

087-891-2469 (直通)、内線 2990、shiba@med.kagawa-u.ac.jp

または

国際交流委員会委員長・コーディネーター：徳田 雅明 (適宜可)

細胞情報生理学 (基礎臨床研究棟 6 階)

087-891-2095 (直通)、内線 2422、tokuda@med.kagawa-u.ac.jp

*以前研修した学生さんのレポートなどを見たい人や、その他の相談に応じる。